平成22年度に実施した事務事業の評価

番号	10008	事務事業名	映像・音声等広報事業	所管課	情報政策課

総合計画体系（後期）			
	部	1	市民活動の推進
	章	1	協働のための基盤づくり
	節（施策）	2	市民との情報の共有

【将来像】

節（施策）の目的です。後期基本計画の施策の将来像を確認し、転記してください。

市民と行政が情報を共有し、市民がまちづくりに参加しています

【事業の内容】

誰・何に対して、どんな手段を実施していますか（しますか）？

宗像市の行政情報や地域情報などを、ホームページを活用して市内外にタイムリーに情報提供して宗像市をＰＲする。また、高齢者や障害者の方にも閲覧いただけるような音声案内などの機能整備や、外国語のページを作成するなど、利用しやすい環境づくりを実施してアクセス数増を目指している。広告媒体としての価値を高め、有料広告を掲載することで、市の収入増を図る。

事業費（単位：千円）		21年度決算	22年度決算	23年度予算
事業費合計		3,445	3,437	3,922
財源内訳	国・県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	3,445	3,437	3,922
財源名	国・県支出金			
	地方債			
	その他			

【事業の効果】

誰・何がどのような状態になることを目指していますか？

市民と行政が情報を共有し、多くの市民が積極的にまちづくりに参加できるようホームページを通じて市政情報、各地区コミュニティやボランティア団体などの情報を積極的かつ迅速に、わかりやすく提供することにより市民協働のまちづくりを目指します。また、他の地域や世界中に住みよいまち宗像をＰＲする情報や観光情報を発信して産業振興と定住化を促進します。さらにホームページの広告媒体としての価値を高めて、有料広告を掲載することにより、市の収入増を図ります。

指標名（成果指標）	説明・算定式	単位	実績の推移			22年度		目標値			
			19年度	20年度	21年度	目標	実績	23年度	24年度	25年度	26年度
ホームページへのアクセス数	年間アクセス件数	千件	5989	8319	10248	8400	11459	11500	11600	11700	11800
広告収入		千円	786	1568	2148	1790	1970	2080	2100	2150	2200
市から必要な情報が提供されていると思う市民の割合	市民アンケートで「はい」と答えた人の割合	%			29.8	30.9	25.5	32.1	33.2	34.4	35.5

平成22年度に実施した事務事業の評価

22年度 実施計画	■各課からの市政情報を更新できるシステムを有効に活用してタイムリーに市政情報やお知らせ記事などの情報提供を実施する。このため職員研修を実施してホームページの内容充実を図る。■平成21年度のホームページ見直し検討結果を受けてホームページの充実を実施する。■また、ホームページの広告媒体としての価値を高めて、市の収入増を図る。■市外、外国向けに宗像市をＰＲする観光情報、定住化情報を発信し地域産業の振興と定住化を推進する。
実施結果	実績となる数字も入れて、分かりやすく ■各課からの市政情報をタイムリーに提供できるよう5月に職員向けのホームページ操作研修を実施した。■平成21年度の見直し検討結果を受けて、音声対応、外国語対応、新着情報の改善などを実施し、ホームページのアクセシビリティの向上を目指した結果、アクセス数が月平均約95万アクセスとなった。■市外の国内向けに定住化情報、外国向けに観光情報を掲載するなどして市内外への市ＰＲ情報を発信した。■ホームページの広告媒体としての価値を高めて市の収入増を図り、年間１，９６９，５００万円の収入となった。

【一次評価(担当課から)】

必要性の評価		その評価をした理由
市民のニーズはどうなっていますか？ 1　向上している　2　変わらない　3　低下している	評価 1	市民の協働意識の向上に比例して市政情報に関するニーズ、観光や定住化に関する情報へのニーズも向上している。
民間、国、県、市が行う他の事務事業と 事業の目的や成果が重複していませんか？ 1　重複していない　2　一部重複している　3　重複している	評価 1	市の単独事業である。
有効性の評価		**その評価をした理由**
目的に対しての成果はどうなっていますか？ 1　向上している　　2　変わらない　3　落ち込んでいる	評価 3	パソコンや携帯電話等の機能向上や普及に比例して、市の公式ホームページへのアクセス数は増加しているものの、市民アンケートによる数字を勘案すると改善すべき点がある。
市民参画協働の推進や、 社会情勢の変化などに対応できていますか？ 1　対応できている　　2　対応の必要がない　3　対応できていない	評価 1	市民参画や協働を促進する市民活動交流室のＨＰへのリンク「協働のページ」バナーを設置して市民活動団体やその活動を紹介している。また、協働に関する記事を掲載して積極的な情報提供を実施した。
効率性の評価		**その評価をした理由**
コスト効率はどうなっていますか？ 1　向上している　　2　変わらない　3　低下している	評価 2	平成18年度にリニューアルした当時の契約額から少しだけ減少している。平成25年のリニューアルまでは、大きな変更はない。
公平性の評価		**その評価をした理由**
特定の受益者に偏っていませんか？ 1　偏っていない　2　法律や条例でやむを得ず偏っている 3　偏っている	評価 1	契約面では平成18年度のリニューアル時に入札で決定した業者と引き続き契約している。また、障がい者や高齢者に配慮した字の大きさの変更や音声対応、外国語対応などの機能を付加して、誰でも閲覧できるホームページとしている。

総合評価と今後の方針			具体的な改善策
内容	維持	協働のまちづくりをすすめるため、今後も市政情報の提供を継続的に実施する必要がある。また、定住化を促進する情報、観光情報を市外や外国向けに発信して、さらなる定住化促進と産業振興を図る必要がある。	市内向けに協働を促進する情報、市外向けに定住化情報を提供できるように職員向けのホームページ操作研修を実施して、さらに積極的な情報提供を求める。また、平成25年度のリニューアルに向けた内容の改善、携帯電話に加えて多機能型携帯電話（スマートフォンなど）への対応などを検討してアクセス数の向上を目指す。
予算	維持		

【平成24年度に向けての二次評価(最終評価)】

理由及び検討事項		
内容	要検討	ホームページのリニューアルにあたっては、さまざまな情報を発信させることはもちろんのこと、情報の受け手側に配慮した内容となるよう十分検討する必要があることから、内容を「要検討」とした。
予算	維持	